	1989 平成元年	'90 平成2年	'91 平成3年	'92 平成4年	'93 平成5年	'94 平成6年	'95 平成7年	'96 平成8年	'97 平成9年	'98 平成10年	'99 平成11年	2000 平成12年	'01 平成13年	'02 平成14年	'03 平成15年	'04 平成16年	'05 平成17年	'06 平成18年	'07 平成19年	'08 平成20年	'09 平成21	'10 平成22年	'11 平成23年	'12 平成24年	'13 平成25年	'14 平成26年	'15 平成27年	'16 平成28年	'17 平成29年	'18 平成30年	
社会・経済	▪バブル経済 ▪消費税導入 ▪ベルリンの壁崩壊	▪不動産融資に関する総量規制 ▪クウェート侵攻 ▪ドイツ再統一	▪バブル経済崩壊 ▪湾岸戦争 ▪ソビエト連邦崩壊		▪屋久島、白神山地が世界自然遺産に ▪J リーグ開催 ▪EU誕生		▪阪神淡路大震災 ▪オウムサリン事件 ▪Windows95発売	▪住専不良債権問題	▪消費税5%に ▪アジア通貨危機	▪長野オリンピック ▪NPO法施行	▪IT バブル ▪ユーロ導入	▪介護保険制度始まる	▪同時多発テロ ▪US J開園	▪FIFA ワールドカップ日韓大会 ▪日朝首脳会談	▪イラク戦争	▪郵政民営化開議決定 ▪新潟県中越地震	▪知床が世界自然遺産に ▪愛・地球博（愛知万博）開催		▪サブプライム問題 ▪郵政民営化	▪リーマンショック		▪国際生物多様性年 ▪生物多様性条約第10回締約国会議（COP10） ▪公共建築物等木材利用促進法	▪東日本大震災 ▪小笠原諸島が世界自然遺産に ▪国際森林年 ▪生物多様性地域連携促進法			▪消費税8%に ▪レッドデータブック（3訂版）	▪国連がバリ協定、SDGs採択	▪熊本地震	▪台風21号被害	▪大阪北部地震 ▪平成30年7月豪雨 ▪台風21号被害	社会・経済
環境保全関連制度	▪「我が国における保護上重要な植物種の現状」発行		▪樹木医制度創設 ▪動物版レッドデータブック発行	▪リオデジャネイロ地球サミット	▪種の保存法 ▪環境基本法		▪みどりの募金法		▪京都議定書				▪MDGs策定		▪生物多様性国家戦略	▪自然再生推進法	▪外来生物法			▪金融生物紙幣国際会議指定50周年 ▪生物山系花屏風模型 ▪第56回大阪府植樹祭（河南町）						▪レッドデータブック（3訂版）	▪国連がバリ協定、SDGs採択				環境保全関連制度
大阪府	▪財団法人大阪みどりのトラスト協会設立 ▪自然環境保全地域指定（4地域） ▪大阪みどりの百選選定 ▪第37回大阪府植樹祭（松原市） （岸 昌）	▪国際花と緑の博覧会（鶴見緑地） ▪第38回大阪府植樹祭（泉南市） ▪和泉葛城山ブナ林の牛滝林道整備に保護樹林帯を造成	▪第39回大阪府植樹祭（四条畷市） （中川 和雄）	▪三草山大阪府緑地環境保全地域指定 ▪和泉葛城山ブナ林の人工植栽帯の土地取得（～H6） ▪第40回大阪府植樹祭（阪南市）	▪ナショナルトラスト全国大会を大阪で開催 ▪第41回大阪府植樹祭（高槻市）	▪大阪府環境基本条例 ▪第42回大阪府植樹祭（羽曳野市） ▪大阪府みどりの功労者表彰制度はじまる	▪APEC'95大阪会議 ▪第43回大阪府植樹祭（東大阪市） （横山 ノック）	▪金剛生駒紀泉国定公園の指定拡大に伴い、ブナ林が特別保護地区及び第1種特別地域指定 ▪第44回大阪府植樹祭（摂津市）	▪第45回大阪府植樹祭（岸和田市）	▪地蔵湿地大阪府緑地環境保全地域指定 ▪第46回大阪府植樹祭（泉佐野市） 「森林と市民を結ぶ全国の集い」を大阪で開催	▪第23回全国育樹祭（蛸路池公園（岸和田市））開催 ▪第47回大阪府植樹祭（箕面川市）	▪「大阪府野生生物目録」及び「大阪府における保護上重要な野生生物」発行 ▪第48回大阪府植樹祭（河内長野市） （太田 房枝）	▪第49回大阪府植樹祭（高槻市）	▪大阪府漁業協同組合連合会「漁民の森づくり活動」開始 ▪第50回大阪府植樹祭（熊取町）	▪「木になる夢銀行」オープン ▪「紀泉わいわい村」（府民の森指河面地）オープン ▪第51回大阪府植樹祭（岸和田市）		▪外来生物法 ▪第52回大阪府植樹祭（枚方市）	▪11月を「山に親しむ推進月間」に、「おおさか山の日」を11月第2土曜日に制定 ▪第53回大阪府植樹祭（東大阪市）	▪「森林と市民を結ぶ全国の集い」を大阪で開催 ▪第54回大阪府植樹祭（大東市） （中村 桂子）	▪拝7-3区で「はじまりの森」植樹祭開催 ▪第55回大阪府植樹祭（茨木市）	▪金剛生駒紀泉国定公園指定50周年 ▪生物山系花屏風模型 ▪第56回大阪府植樹祭（河南町） （橋下 徹）	▪みどりの大阪推進計画策定 ▪カシノナガキクイムシによるナラ・カシ類の集団枯死被害を確認	▪大阪21世紀新環境総合計画 （松井 一郎）			▪大阪府レッドリスト改定、生物多様性ホットスポット55ヶ所を選定 大阪府レッドリスト2014 大阪府				▪府内各地で7月豪雨、台風21号の被害発生 ▪2025年国際博覧会の開催地が大阪に決定	大阪府 （知 事）
トラスト協会 （会 長）	▪設立（11/1、大阪市中央区谷町2-1-22 原大手前ビル） ▪理事会、専門委員会を設置 （中塚 昌幽）	▪特定公益増進法人となる（～H24） ▪大阪市中央区大手前1-6-4はなビルに移転	▪緑化推進委員会を設置 ▪評議員会を設置				▪大阪府緑化推進委員会に指定され、緑化推進運動協議会を設置			▪大阪市中央区本町1-4-8ひら富ビルへ移転	▪10周年記念行事開催 （宮崎 勇）					▪大阪市中央区馬場町3-35大阪府農林会館へ移転	▪「ミミート・ザ・トラスター・トラスト協会で会いましょう～」実施			▪府からの補助率大幅減		▪公益財団法人に移行 ▪府から協会への職員派遣終了 ▪大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルへ移転 （石井 実）	▪大阪さともり地域協議会設立 ▪25周年記念シンポジウム開催		▪増田和子様から1,700万円の遺贈を受ける	▪大阪市長から環境の保全と創造に関する功勲で表彰 ▪中期経営計画（H29～31）策定 ▪協会のロゴマークを商標登録 ▪トラスト感謝祭内容拡大	▪「グリーンウェイブ／オプティ シャルパートナーに任命 ▪個人会費を年間3,000円に引き上げ ▪30周年記念トラスト感謝祭開催	トラスト協会 （会 長）
自然環境保全事業	▪自然環境保全地域の社寺林調査60箇所実施 ▪保全対象地の選定や保全方法の検討	▪自然環境保全地域5地域38.33haと保全契約締結 ▪みどりの人材銀行「みどりすと」事業に着手 ▪府南部の保全活動対象地の調査を実施 ▪ブナ林植生調査を実施	▪府北部の保全活動対象地の調査を実施 ▪ブナ林緑化群林等の土地測量調査の実施 ▪ブナの種苗養成はじまる	▪「和泉葛城山ブナの森トラスト運動」に着手 ▪「三草山ゼフィルスの森のトラスト運動」に着手	▪三草山ゼフィルスの森に30年間の地上権を設定 ▪ブナ林の緑化林帯の一部にブナのモデル植林はじまる	▪ブナ林の天然下種更新を促進 1995 和泉葛城山ブナ林 保全活動（緑活会）	▪三草山ゼフィルスの森にゼフィルスの食草木の植栽はじまる	▪希少野生動植物保護増殖事業（イダセンパラ）の実施	▪「地舗湿地保全事業」はじまる ▪ブナ林毎木調査（～H11） ▪ブナの森基金に東出駱夷画伯より寄附（H10年）	▪「信太山湿地保全事業」 ▪「いずみの森（泉佐野市）整備事業」 ▪「みどりすとの森（扇本町大沢）整備事業」 ▪「八尾水辺エコアップ事業」 ▪「岩湧山カヤ草地保全事業」はじまる	▪「貝塚市外院の社里山保全事業」（外院の社クラブ立ち上げ） ▪「貝塚市蕎原みどりすとの森整備事業」はじまる ▪「和泉葛城山ブナ林 人止め柄、木道、作業小屋」完成	▪「堀河みどりすとの森（CSRトカモ協会の森）保全事業」はじまる ▪「いずみの森」、「大沢の森」に作業小屋完成	▪「茨木市車作の森保全事業」 ▪「能勢歌垣の森保全事業」 ▪「大和葛城山下カヤ群生地保全事業」はじまる ▪薬師の森でエコマネー導入 ▪「和泉葛城山ブナ愛護クラブ」立ち上げ ▪「島本森のクラブ」立ち上げ	▪「みなせ水源の森（島本町大沢）里山保全事業」はじまる ▪ブナ林毎木調査、全体の林相調査（～H16） ▪和泉葛城山ブナ林天然記念物指定50周年記念シンポジウム開催 ▪緑の地域ボランティアスクールの開催（～H18）	▪「和泉の森づくり」はじまる ▪ブナ林毎木調査、全体の林相調査（～H16） ▪和泉葛城山ブナ林天然記念物指定50周年記念シンポジウム開催 ▪緑の地域ボランティアスクールの開催（～H18）	▪「いずみの森ボランティアの会」立ち上げ ▪「みどりの日制定記念の森（島本町桜井）里山保全事業」はじまる		▪いずみの森に石窯完成 ▪島本の森に炭窯完成 ▪自然保護ボランティア育成講座の開催	▪「にほんの里100選 記念シンポジウム～各くの生きものを育む能勢の自然～」開催 ▪里山ボランティア養成講座の開催（～H26） 2008年から2012年 ボランティア養成講座実施	▪「タガメの田づくり（能勢町神山有機農地）」はじまる。関大一中が全学年で活動参加 ▪関西自然保護機構シンポジウム「里太山丘陵の保全と活用」を共催	▪能勢環境フォーラム「能勢の自然の魅力を、開催 ▪第5回全国チョウ類保全シンポジウム「ギフチョウ～全国蝶類城山系の自然を考える～」共催 2011 城山フォーラム（大阪）	▪「島本森のクラブ」NPO法人に ▪信太の森講座「恋ヶ池湿地について」開催			▪能勢歌垣の森（能勢町）で大阪自然環境保全協会と連携保全事業はじまる ▪和泉葛城山ブナ林シンポジウムの開催	▪遺贈による資金等で恵大保全地（和泉葛城山ブナ林、三草山、地舗）で3ヵ年（H27～H29）の保全・再生事業を実施		▪ブナ1本を不適正に伐採 ▪御堂筋アメニティーの植栽 年1回を2回に	▪7月豪雨、台風21号により三草山で大規模な崩落や倒木が発生 ▪歌垣銀杏の森（能勢町）で大阪自然環境保全協会と連携保全事業はじまる ▪和泉葛城山ブナ林シンポジウムの開催	自然環境保全事業
緑化推進（緑の募金）事業		▪緑の募金による学校緑化・地域緑化 ▪銀杏の森整備事業（～H9） ▪樹木保存事業（～H11）	▪緑の羽根募金運動実関連事業はじまる ▪大阪府植樹祭の共催（～H20）	▪「花いっぱい運動」は じまる（～H11） ▪「緑の羽根募金の森づくり」はじまる				▪緑化切芽者の表彰はじまる			▪第23回全国育樹祭及び記念行事開催 ▪全国緑の少年団活動発表大会及び交歓集会 ▪緑の地球環境会議 ▪人と樹木のことわりメッセ'99	▪みどりづくりの輪活動支援はじまる ▪みどりのボランティア活動ネットワーク化事業はじまる	 （巻）フナ	 （巻）ナラガシワ	 （巻）クヌギ	▪「こどもの森の国づくり」（自然環境学習支援）はじまる（～H18）	▪「全労災寄付金による緑化推進事業」を実施	 （巻）クヌギ（秋）ドングリ	▪株式会社大阪木材相互市場様から800万円の寄付を受け、「学校に森林と木の香りを」整備事業創設	▪大阪府植樹祭に代わり「トラスト感謝祭」はじまる		▪東日本大震災のためトラスト感謝祭は中止		▪東日本大震災復興支援チャリティーコンサート開催（上田正樹と歌う復興支援応援ソング）	▪第2回東日本大震災復興支援チャリティーコンサート開催	▪第3回東日本大震災復興支援チャリティーコンサート開催		▪「かざして募金」はじまる	▪府立図書館と共催の恵及啓発事業はじまる ▪森林ESDの推進に着手 ▪物品の寄付による募金はじまる	▪「森と自然を活用した保育・幼児教育を考える シンポジウム」の開催	緑化推進（緑の募金）事業
普及啓発事業	▪シンボルマークの募集・選定 ▪おいしいきんの木探検隊開催 ▪設立記念行事の開催	▪トラスト運動の啓発推進のためのイベントを多数開催 ▪大阪みどりの百選保存啓発推進 ▪会報「みどりのトラスト」創刊 	▪みどりのトラストフェスティバル等の開催 ▪「緑化ポスターコンクール」、緑の少年団の育成事業はじまる ▪会報発行が年3回に（H2年2回）	▪「みどりのトラストフェスティバル'92」（万博記念公園）の開催 ▪「みどりのフォーラム」の開催 ▪「森林文化教育講演会」の開催	▪「同'93」（万博記念公園）の開催 ▪「第11回ナショナル・トラスト全国大会」を大阪で開催	▪「同'94」（万博記念公園）の開催 ▪大阪みどりのトラスト賞の開催	▪「同'95」（大泉緑地）の開催 大阪府みどりのトラスト賞のガイド	▪「同'96」（大泉緑地）の開催	▪「同'97」（浜寺公園）の開催 ▪協会ホームページ開設	▪みどりすとお泊り研修会開催 ▪グリーンツアー（先進地視察）実施（岡山県） ▪「いずみの森造成記念フォーラム」開催 ▪「みどりすとのオープニングイベント」開催	▪グリーンツアー実施（天神崎） ▪みどりの少年団数19団に（H10:8団）	▪いずみの森宿泊交流会 ▪グリーンツアー実施（エコリゾート赤目の森）	▪クラフトボランティアグループ立ち上げ ▪「大阪の自然ガイドブック」発行 大阪の自然ガイドブック	▪会報「みどりのトラスト」年4回発行に ▪緑の少年団との共催事業の開催 ▪緑の少年団アクティビティ2002in岩湧の森 ▪森のクイズ＆クラフトin万博	▪協会ホームページリニューアル ▪「緑の地球ボランティアスクール」実施 ▪木になる夢銀行事業（～H19） 	▪会費の自動引き落とし制度導入	▪協会ホームページのリニューアル	▪第2回「関西・中国地区のチョウ類の保全を考える集い」「大阪府のギフチョウの生息状況と保全」共催	▪森と人をつなげる人材育成講座「森人塾」開催 2010年大阪		▪協会のホームページのリニューアル（現在のカタチに）	▪会報年4回発行に ▪ワンダー！おおさか 自然と人とみどりのフォトコンテスト開催（～H27） ▪さともり地域協議会による里山保全シンポジウム「私たちの森づくりのこれからをかんがえる」の開催	▪「おおさか自然のたのしみ体験ツアー」開催 ▪森人塾特別講演「里山を考える～」開催	▪「森人塾」みどりすと養成講座として再スタート ▪森人塾特別講演「里山を考える～」大阪の里山と自然」開催	▪会報が林業関係広報コンクールにおいて林野庁長官賞受賞 ▪森人塾特別講演～里山と人の関わりを考える～「里山の文化と歴史」開催	普及啓発事業